

# 令和3年度 政策評価調書

大項目 (分類)	人・地域	中項目 (政策の柱)	持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備	政策 コード	3(7)
関係部局	総合政策部 建設部				

## 【社会経済情勢（現状・課題）】

人口減少と高齢化の進行により社会資本への投資余力が減少するとともに、高度経済成長期に整備された橋梁などの社会資本の老朽化が進行している。  
 北海道新幹線の開業や新たな航空路線の開設などにより、本道と国内外との交流人口の拡大が期待される中、その効果を全道各地に波及させ、地域の活性化に繋げる必要がある。  
 過疎化の著しい集落においては、身近な生活交通手段の不足などの問題が深刻化しており、地域の経済活動や通院・通学など、日常生活を支える鉄道やバス、離島航路・航空路といった地域交通の安定的・継続的な確保が求められている。

## 【政策の概要】

- 産業活動や暮らしを支える社会資本の戦略的・効率的な整備 【3(7)A】
  - 社会資本が引き続き本道の産業活動や暮らしを支え、地域の発展に寄与していくため、「選択と集中」の観点に立った安全で安心できる地域社会の形成に向け、コスト構造改善に取り組むなど、戦略的・効果的に社会資本整備を進めるとともに、既存ストックの有効活用や適切な維持管理を行います。
  - 社会資本の多くは、高度経済成長期以降に集中して整備されており、今後、一斉にその更新時期を迎えることから、道民の暮らしに必要なインフラ機能の確保に向け、施設の定期的な点検・診断結果に基づく計画的な修繕や更新といったメンテナンスサイクルの構築や、予防保全の考え方を導入した既存施設の長寿命化を図るなど、社会資本の効率的・効果的な維持管理・更新等を図ります。
- 連携と交流を支える総合的な交通ネットワークの形成 【3(7)B】
  - 新幹線や海外との航路・航空路の拡充により期待される国内外との人流・物流の拡大を一層促進するため、北海道新幹線の札幌延伸に向けた整備促進や新千歳空港の国際拠点空港化の促進をはじめ、鉄道、航空路、航路といった基幹的な交通ネットワークや交通基盤の充実を図るとともに、冬期間を含めた道外との安定的な高速交通アクセスを確保するなど、戦略的な交通ネットワークの構築を図ります。
  - 国内外との人流・物流の拡大効果を全道に波及させるとともに、本道の強靱化を推進するため、空港・港湾などの交通拠点の機能強化を図るほか、高規格幹線道路の整備、民間活力の導入や空港間連携による道内航空ネットワークの拡充といった高速交通体系の形成促進、物流効率化に向けた基盤の強化など、道内交通体系の充実・強化を図ります。
  - 人口減少や高齢化の一層の進行など、本道の交通を取り巻く状況が大きく変化する中、住み慣れた地域で安全・安心・豊かに生活することができるよう、国や地域、交通事業者等との連携を一層密にしながら、鉄道やバス、離島航路・航空路など、地域の実情に応じた将来にわたり持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を図るとともに、道路網や都市内交通環境の充実など、住民の暮らしに欠かせない地域交通の安定的な確保を図ります。
  - 誰もが快適に利用することができ、環境にやさしく、利便性の高い交通環境の実現に向け、公共交通機関のバリアフリー化や環境負荷の低減、交通機関相互の連携による乗り継ぎの円滑化や分かりやすい交通情報の提供などの取組を促進します。

## 【総合計画の指標達成状況】

成果指標	指標名（単位）	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	達成率
	個別施設ごとの長寿命化計画策定率(%)		78.4	94.6	97.3	100.0
道内空港の国際線利用者数(万人)		410	350	0	317	0.0%

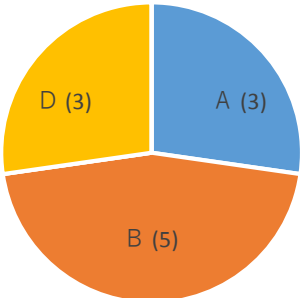
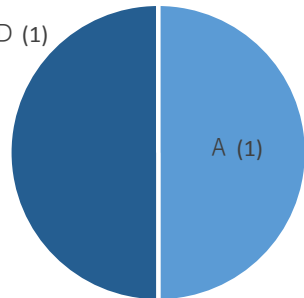
## 【政策を構成する施策の評価結果】

政策コード	施策コード	施策名	総合判定
3(7)A	02023	安全・安心な暮らしを支える社会資本整備の推進	概ね順調
3(7)A	08023	大規模自然災害対策の推進（長寿命化）	概ね順調
3(7)A	08062	都市公園の整備・維持管理・更新の推進	順調
3(7)A	08071	下水道施設の整備・維持管理・更新の推進	概ね順調
3(7)B	02046	総合交通ネットワークの形成	遅れている
3(7)B	08032	道路交通ネットワークの形成（長寿命化）	概ね順調
施策の評価結果から算出した進捗状況			概ね順調

大項目 (分類)	人・地域	中項目 (政策の柱)	持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備	政策 コード	3(7)
関係部局	総合政策部 建設部				

**【施策評価の指標の達成状況】**

**【補助指標の達成状況】**

指標の達成状況	指標判定	指標数	指標の達成状況	指標判定	指標数
	A	3		A	1
	B	5		B	0
	C	0		C	0
	D	3		D	1
	判定不可	0		判定不可	0

**【前年度二次評価意見】**

区分	コード	施策名	事務事業	今後の取組の方向性
施策	02046	総合交通ネットワークの形成	クルーズ船誘致連携事業	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。

**【評価委員の意見】**

各部局が担当する施策については、概ね現状と課題を踏まえて適切に実施されていると判断されるが、施策間あるいは部局間の連携についてはうまく機能しているとは言い難いと感じられる。

一方、施策目標に対応する成果指標については、達成が容易と判断されたもののみが掲げられているように感じられ、残された課題が何であるかはわかりづらい。さらには、施策の目標・目的と手段を混同しているような取り組みが記載されている点は改善の余地がある。すなわち、施策を実施するためには、適正な予算が必要となるが、予算確保自体が目的ではないことに留意されたい。

目標と関連性の高い取り組みや成果指標を記載するとともに、うまく機能している施策だけではなく、課題が残されている施策については、その進捗状況がわかる情報を示して頂きたい。そのことにより、持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備に向け、道民にわかりやすい評価が可能となると考えられる。